

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 27 年 6 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況（図 1～図 2）

26 日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口内では特段の変化は認められませんでした。中央部に位置するグスク火山の北側火口壁から、白色の噴煙が認められました。また、硫黄鳥島西岸の海岸線に沿って長さ約 500m の青白色の変色水が認められました。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

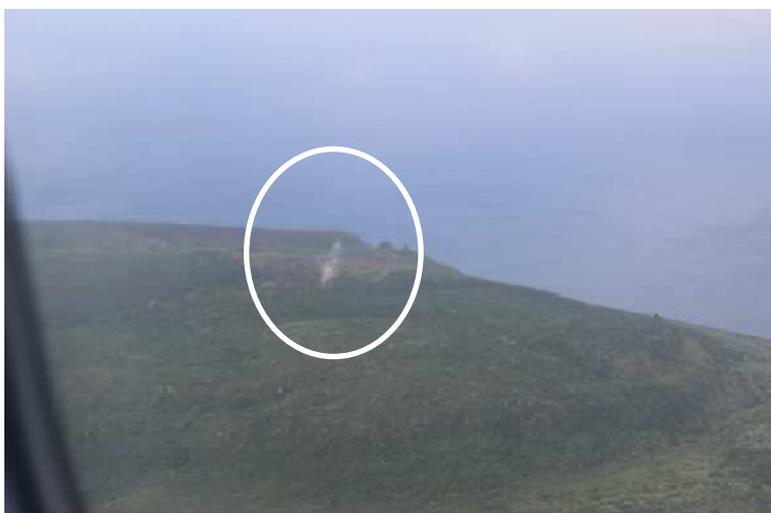


図 1 硫黄鳥島 グスク火口北側火口壁の状況（火口西側から撮影）
6 月 26 日 10 : 58 撮影（第十一管区海上保安本部提供）



図 2 硫黄鳥島 変色水域の状況（火口西側から撮影）
6 月 26 日 10 : 54 撮影（第十一管区海上保安本部提供）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』を複製しています（承認番号：平 26 情複、第 658 号）。

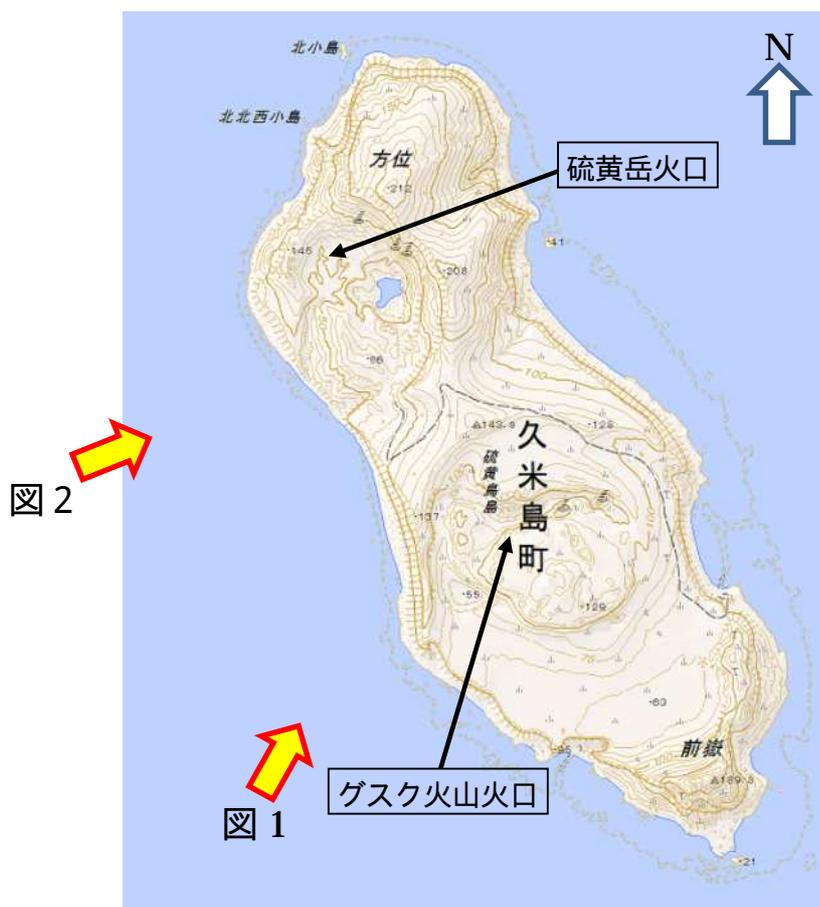


図3 硫黄島 火口位置と各図の撮影方向